

事業所向け

児童発達支援自己評価

事業所名: 広島ジムフレンズ体操教室

職員数 7名中 5名 回収

		チェック項目	はい	いいえ	
環境・体制整備	1	利用定員が活動等のスペースとの関係で適切であるか	5		
	2	職員の配置数は適切であるか	5		・基準の配置人数以上の職員を配置している。
	3	障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		
	6	「保護者様向け評価表」により、アンケート調査を実施し、保護者の意向を把握し、業務改善に繋げているか	5		
	7	「事業者向けの自己評価表」及び「保護者向け評価表」の結果を踏まえ、支援の質の評価や改善の内容を、事業所のホームページ等で公表しているか	5		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	
	9	職員の資質の向上を図るために、研修の機会を設けているか	4	1	・定期的な研修のほか気になった際は職員間で共有している。 ・定期的にミーティング、研修されていると思う。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		
	12	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、5領域を全て含めた総合的な支援内容が設定されているか	5		
	13	個別支援計画に沿った支援が行われているか	5		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・個別の特性をもとに工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	5		

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		・朝のミーティングで伝達事項の確認ができている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	1	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等の間で、支援内容の情報共有と相違理解を図っているか	3	2	・直接の情報提供もあるが相談員保護者を通じてが多い。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容の情報共有と相違理解を図っているか	3	1	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達支援障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか(地域部会等含む)	4	1	
	26	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	5		
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	3	
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		
	29	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	5		
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		
	31	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		
	32	活動概要、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		
	33	個人情報に十分注意しているか	5		
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	

非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施してるか	4	1	・保護者への周知が弱いと思うので情報発信を多くする。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		
	38	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認してるか	5		・服薬している子どもの情報共有は出来ている。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	・保護者から情報を頂いている。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		・ヒヤリハットについてはその都度記録し職員間で閲覧できるようにしている。
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		
	42	やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で行なっているか？	4		・現時点では拘束の必要性がある児童はいないがその都度保護者と情報の共有を図っている。

事業所向け

放課後等デイサービス事業所評価

事業所名： 広島ジムフレンズ体操教室

職員数 13名中 11名 回収

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が活動等のスペースとの関係で適切であるか	9	1		・基準の配置人数以上の職員を配置している。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	4		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、職員が参画しているか	7	2		
	5	保護者様向け評価表を活用する事によりアンケート調査を実施して保護者様の意向を把握し、業務改善につなげているか	7	2		
	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページ等で公表しているか	6	2		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	3	
	8	職員の資質の向上を図るために、研修や勉強会の機会を設けているか	7	4		・常に職員間で色々な情報共有をしている。 ・定期的に研修の場を設けて問題点は職員間で共有確認している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	8	2		・モニタリング以外にその日の活動の様子や保護者からの様子を伺い計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	4		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	3		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	2		・成長に合わせて活動内容を工夫している。
	13	平日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	4		・平日、長期にしかできない事を考え工夫して活動支援を行なっている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	7	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1		・常に情報を共有し支援にあたっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	4		・共有ノートやLINE、口頭で情報の共有を行なっている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	2			

	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	2		・担当職員が定期的実施し情報発信してくれている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	2			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	2			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5	1		
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	5			
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか(地域部会等含む)	6	3	1	・地域部会以外に担当者会議等で得た情報を共有し合っている。	
	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	1	2		
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1			
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	2			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	2			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2		・連絡ノート等を活用している。出勤した時にその週にあったことを聞く。	
	31	活動概要、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2			
	32	個人情報に十分注意しているか	9	2			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2		・絵カード等をもっと活用する。連絡帳やメールで情報を発信している。	

非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	2		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対しての周知は弱いように思う。 ・定期的な研修をされている。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			<ul style="list-style-type: none"> ・年2回以上実施。 ・定期的な訓練、研修を行っている。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訓練、研修を行なっている。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画や連絡帳に記載しているか	6	4		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束についてはどのような対応をとるか等は不明。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	3		
	39	ヒヤリハット集を作成して事業所内で共有し、原因究明と解決を行なっているか	7	1	1	